

令和5年度 幼児教育事業の実施状況について

名称	月日	参加者・対象	内容
幼児教育審議会	第1回 10月30日(月) 第2回 2月7日(水)	幼児教育に関する知識経験者、保幼認小代表、保護者	令和5年度の幼児教育事業計画の報告を行った。 今後の幼児教育振興プログラムに基づく幼児教育事業について協議・検討を行った。
幼児教育 研究協議会	第1回 9月7日(木)	保幼認小代表	保幼認小義の接続について、課題について協議・検討を行った。
	第2回 11月7日(火)	保幼認小代表	保幼認小義の接続・連携の強化に向けて、「保育の日」と「スタートカリキュラム」について協議・検討を行った。
	第3回 1月22日(月)	保幼認小代表	令和5年度の幼児教育事業計画の経過報告を行った。 令和6年度の「保育の日」の案の協議を行った。
保育所・幼稚園・認定こども園 園長会	第1回 5月10日(水)	保幼認の園長	令和5年度幼児教育事業について説明を行った。 保育所・幼稚園・認定こども園による小学校見学支援事業について、令和4年度利用園の園長先生から感想を発表する場を設定し、事業内容について周知を図った。
	第2回 11月9日(木)	保幼認の園長	特に、「子ども家庭センター・子ども相談係の役割と虐待対応について」を、子ども家庭センターから説明をする場を設定した。児童虐待への対応のポイントや宗像市の実態について、理解を深めた。
保育所・幼稚園・認定こども園 小学校・義務教育学校連絡会	6月15日(木)	保育士・幼稚園教諭・保育教諭・小学校教諭 (43名参加)	学校と保育園、幼稚園、認定こども園が入学後の子どもの様子を情報共有する場として設定した。 参加者の先生からは、「小学校からの報告が聞け、様子を知らなくてよかった」「小学校の先生の困り感が、園からの情報で解決につながってほしい」という感想があった。 情報交換を通し、幼児教育と小学校教育との連携・接続の強化を図ることができた。 先生同士がさらに情報共有しやすいために、名刺交換の際は、連絡を取りやすい時間帯を開けるよう工夫した。
幼児教育と小学校教育の円滑な 接続に関する研修会	第1回 6月28日(水)	保育士・幼稚園教諭・保育教諭・小学校教諭 (30名参加)	福岡教育大学附属幼稚園で、保育参観とグループ協議を実施した。 参加者の先生からは、「先生の子どもへの言葉かけや問いかけにより、子どもが考え、発言できる環境づくりをされていた」「子ども達との信頼関係が伝わり、子どもたちが安心して楽しく過ごせていた」などの感想があった。 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を視点に置きながら参観することで、グループ協議では子どもの姿の理解も深まった。
	第2回 11月16日(木)	保幼認の主任と小学校の主幹教諭 (35名参加)	宗像市教育委員会 地域教育連携室室長兼社会教育主事から、「接続カリキュラムの充実に向けて」について協議を行った。 第2回と第3回を通して意見交換を行いながら、接続カリキュラムの作成に向けて取り組むために、可能な限り同じ先生に参加を依頼し行った。参加者の先生からは「幼児教育と学校教育の違いがよく分かった」「子ども達にとって安心感、楽しさ、居場所、教師の明るさはとても大事なことだと改めて感じた」などの感想があった。 講義やグループ協議を通して、発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育及び学校教育の充実を図ることができた。
	第3回 1月26日(金)	保育士・幼稚園教諭・保育教諭・小学校教諭 (36名参加)	東海大学付属自由ヶ丘幼稚園で、保育参観とグループ協議を実施した。 参加者の先生からは、「子どもたちに対する温かい雰囲気づくりが素晴らしかった」「園での悩みや小学校での困り感を話し合うことができ、とても良い機会になった」などの感想があった。 保育参観と意見交換を通して、保育所・幼稚園・認定こども園・小学校・義務教育学校における教育、保育活動についての相互理解を図ることができた。 また、スタートカリキュラムの作成に向けて、「安心をつくる時間」をポイントに意見交換を行い、充実した時間となった。
幼児教育研修会	第1回 9月13日(水)	保育士・幼稚園教諭・保育教諭 (19名参加)	九州女子大学准教授の今津氏を講師に迎え、「幼児の自発的な活動としての遊びについて」というテーマの講義とグループ協議を実施した。 「受け止められることで、安心して主体的に行動できるということが印象に残った」「行事のために何かをするのではなく、日々の遊びの延長線上に行事があるとよいと思った」などという感想があった。 子どもの遊びと心を、脳科学から学ぶことができ、保育者の資質及び専門性の向上を図ることができた。
	第2回 10月19日(木)	加配職員・保育士・幼稚園教諭・保育教諭 (24名参加)	株式会社Rキューブ 良創夢発達支援ルームらいく宗像店 藤木氏を講師に迎え、「発達の気になるお子さんの具体的な支援方法」というテーマの講義とグループ協議を実施した。 グループ協議では、様々なケースについて意見を出し合い、最後に藤木氏より講評をいただき、支援方法について理解を深めることができた。 参加者からは、「寄り添うことの大切さを再確認した」「具体的な事例での対応の仕方を教えていただいたので取り入れていきたい」といった感想があり、保育者の資質及び専門性の向上を図ることができた。
発達支援コーディネーター研修会	4月28日(金)	園長・発達支援コーディネーター (39名参加)	発達支援室から、市の取り組みと就学に向けた支援について、事例を交えながら具体的な対応について講義した。市と園の連携体制の構築を図ることができた。
	2月1日(木)	発達支援コーディネーター (24名参加)	発達支援コーディネーターが、各園の取組みや支援方法、悩みなどを情報交換・共有し、課題解決のヒントを得るためグループワークを行った。 事例を通して就学後の課題について情報共有し、保育の参考となる取組みを紹介した。
連携事業			
保育の日	7～10月	保育士・幼稚園教諭・保育教諭・小学校教諭	「保育の日」の実施園は17園で、訪問人数の合計は68名。 訪問人数は昨年度の3倍に増え、見学することで幼児の姿の理解も深まり、また保育者の子どもへの関わり方も学ぶことができたという声があった。
保育所・幼稚園・認定こども園による小学校見学 支援事業	主に学校の日	市内保育所・幼稚園・認定こども園	12月に1園、1月に2園が利用。2月に1園利用。 利用した園からは、実際に小学校を見学することで、子どもたちの入学への期待が膨らんだり、不安も軽減され、とてもよい機会となったという声があった。来年度もまた利用したいと好評だった。

その他

・幼児教育研修会の講義については、動画配信を実施した。

・幼児教育事業計画とは別に、宗像市内の保育者を対象に、保育施設等職員研修会を行った。
心理カウンセラーの荒巻氏を講師に迎え、「自分を大切に生きる～心と身体の整え方～」というテーマの講義とグループ協議を実施した。
保育士・幼稚園教諭・保育教諭(17名参加)